

2023年5月15日

各 位

会 社 名 株式会社フルッタフルッタ
代 表 者 名 代表取締役社長執行役員CEO 長澤 誠
(コード番号：2586 東証グロース)
問 合 せ 先 経営管理本部長 松永 啓太
(TEL：03-6272-3190)

業績予想と実績との差異に関するお知らせ

2022年6月30日に公表した2023年3月期通期(2022年4月1日～2023年3月31日)の業績予想と本日公表の実績に差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

2023年3月期業績予想数値との差異(2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 1,000	百万円 △300	百万円 △305	百万円 △305	円 銭 △15.40
実績値(B)	804	△312	△307	△308	△10.41
増減額(B-A)	△196	△12	△2	△3	—
増減率(%)	△19.6	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 2022年3月期	780	△330	△320	△322	△16.26

2. 実績との差異の理由

当初、アサイーの機能性臨床研究結果の取得により、リテール事業部門及び業務用事業部門において、下期にかけて売上増加を見込んでおりましたが、当該試験に、想定以上の時間がかかることが判明いたしました。この為、当期において計画した売上が未達成となりました。このような状況の中、カバー策として楊枝甘露等の新商品を導入することで、売上計画の達成に向けた取り組みを実行してまいりました。大手会員制倉庫型店を中心に導入が順調に運び、前年比で増収を達成しましたが、計画値をカバーするに至りませんでした。また、原料販売において、収益認識基準における売上計上の厳格な取り扱いのため、一部の売上を次年度計上としたことも影響しております。

一方で、円安市況化での仕入調達の調整及び国内在庫の有効活用で、売上総利益が前年比で111%となり、物流コストの見直で、倉庫料が前年比80%及び荷造運賃費が前年比93%と利益確保に大きく貢献しております。その結果、売上数値は未達ながらも、利益金額では概ね計画通りの数値となりました。

以 上